

山梨大学における平成 28 年度以降の教育組織について

国立大学法人山梨大学（学長：島田眞路）では、平成 28 年度から以下のとおり組織改編を行います。

- 大学院修士課程においては、新たに「生命環境学専攻」を設置することが、大学設置・学校法人審議会において認められました。また、大学院修士課程の工学系 8 専攻を廃止し「工学専攻」の 1 専攻とすることも認められました。「大学院医学工学総合教育部」の名称については、「生命環境学専攻」を設置して新たに農学分野の教育を行うことから、「大学院医工農学総合教育部」に変更いたします。
- 生命環境学部地域社会システム学科「観光政策科学特別コース」及び地域食物科学科「ワイン科学特別コース」の入学定員については、両コースとも 13 人（生命環境学部としては 20 人増）となりましたので、改めてお知らせいたします。
- 教育人間科学部については、その使命を教員養成に特化するため、生涯学習課程の学生募集を停止し、学部名称を「教育学部」に変更いたします。

■ 生命環境学専攻の概要

①設置の趣旨および人材育成目標

生命環境学部に接続する専攻であり、山梨県で初めての農学系大学院修士課程で、「生命・食・環境・経営」に関する高度専門職業人を育成します。「バイオサイエンスコース」、「食物・ワイン科学コース」、「地域環境マネジメントコース」の 3 つのコースがあります。

バイオサイエンスコース

微生物、酵素、細胞などの生物機能を探求する生命科学に関する知識及びその機能を産業に応用するための生命工学の技術を修得し、食品、医薬、医療および、環境などに関連するバイオ産業等において活躍できる高度専門職業人を養成します。

食物・ワイン科学コース

付加価値が高く持続的な食物生産のあり方を、ワインをモデルとしながら科学的に探求し、食品産業を原料生産、加工・販売、安全から経営まで、多面的に見渡すことができる高度専門職業人を養成します。

地域環境マネジメントコース

農学を基盤とした自然科学と社会科学の文理融合的アプローチにより、「食と健康」及び「生命と環境」に関わる複雑で多様な課題を解決し、地域の持続的発展を実現していくための政策・企画立案などに貢献できる高度専門職業人を養成します。

②入学定員

生命環境学専攻の入学定員は 45 人です。コースごとの内訳は、バイオサイエンスコース 20 人、食物・ワイン科学コース 15 人、地域環境マネジメントコース 10 人です。

③学 位

- 「バイオサイエンスコース」および「食物・ワイン科学コース」：修士（農学）
- 「地域環境マネジメントコース」：修士（学術）

■ 工学専攻の概要

①設置の趣旨および人材育成目標

高度な専門的知識のみでなく俯瞰的なものの見方、専門应用能力、コミュニケーション能力、国際性等を兼ね備え、新しい分野や融合分野に挑戦できる人材育成を行うため、これまでの工学系の専攻について**専攻間の壁をなくした統合型の専攻に再編**し、新たに「工学専攻」として設置します。工学専攻には、工学部での教育とのスムーズな接続を行うため、**学部の7学科に対応した7コース**を置きます。

機械工学コース

制御、加工、材料など機械分野の深化した専門知識と必要に応じて他の工学分野を理解できる能力、さらにはコミュニケーション能力と国際的視野を身につけた高度専門職業人を養成します。

電気電子工学コース

電子・光デバイス、回路設計、電力制御、情報通信等の分野に関する高度な専門知識と問題解決能力を備え、かつ広範な電気電子工学技術に対する知識を備えた、工学系全般に渡って活躍できる高度専門職業人を養成します。

コンピュータ理工学コース

情報理工学に関する高度かつ先端的な理論や技術とともに俯瞰的なものの見方を身につけ、新たな技術を生み出すために必要となる理学的分析力や探究心、問題解決能力や工学的デザイン力を備えた高度専門職業人を養成します。

メカトロニクス工学コース

機械・電気・情報の総合的知識、技能に基づいた協働開発能力を持ち、これらに基づいた問題発見能力、コミュニケーション能力、技術活用能力を発揮して「ものづくり」開発の中心的役割を果たすとともに、これを通じて社会の課題を解決できる人材を養成します。

土木環境工学コース

土木環境工学に関する発展的知識を修得し、それを社会的に実践できる応用力を備え、かつ、土木環境工学に関わる課題解決に主体的に取り組むのに必要なマネジメントの素養を持つ人材を養成します。

応用化学コース

有機化学、無機化学、分析化学、物理化学、高分子化学分野に関する高度な専門知識と応用力、問題発見・解決能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を備えた高度専門技術者を養成します。

先端材料理工学コース

先端電子デバイス、新機能を有する素材等の材料開発に関する知識を系統的に駆使できる論理的・目的論的思考方法と表現能力を身につけ、異分野との技術交流に積極的に加わって社会を牽引するイノベーション創出に貢献できる高度専門職業人を養成します。

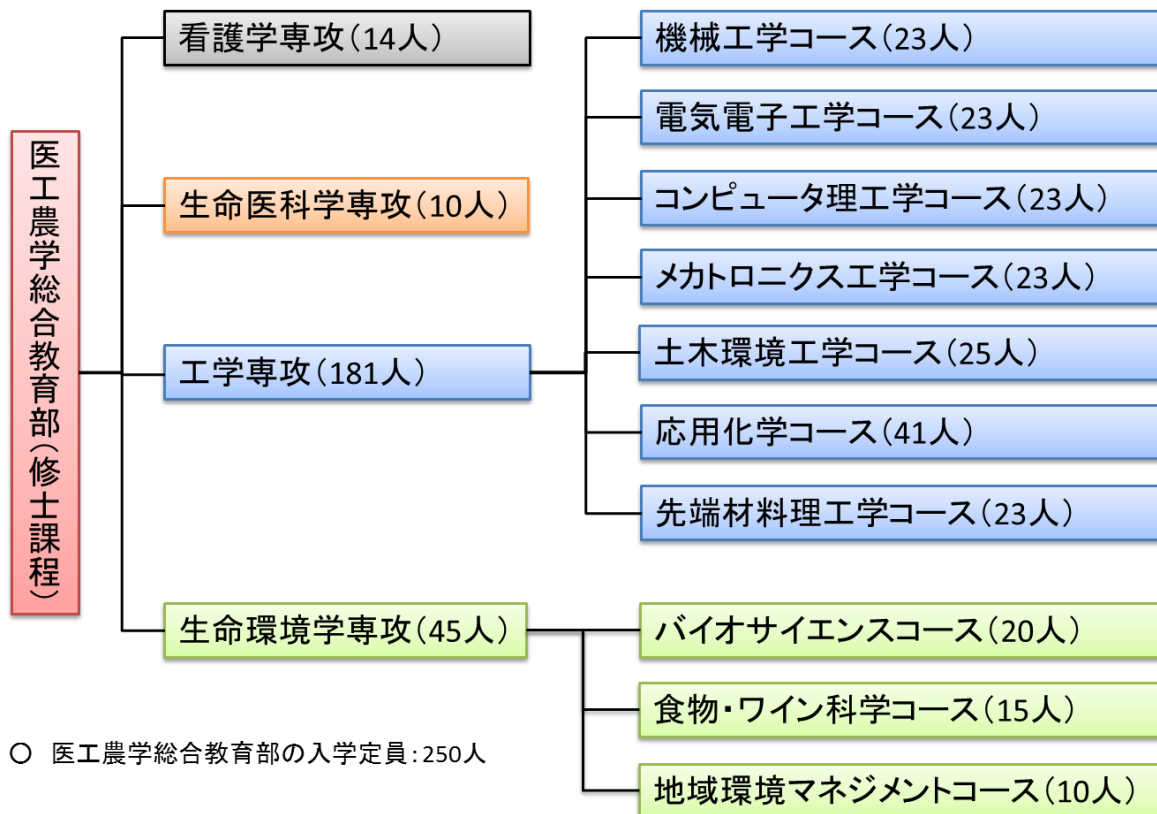
②入学定員

工学専攻の**入学定員は181人**です。コースごとの内訳は、機械工学コース23人、電気電子工学コース23人、コンピュータ理工学コース23人、メカトロニクス工学コース23人、土木環境工学コース25人、応用化学コース41人、先端材料理工学コース23人です。

③学 位

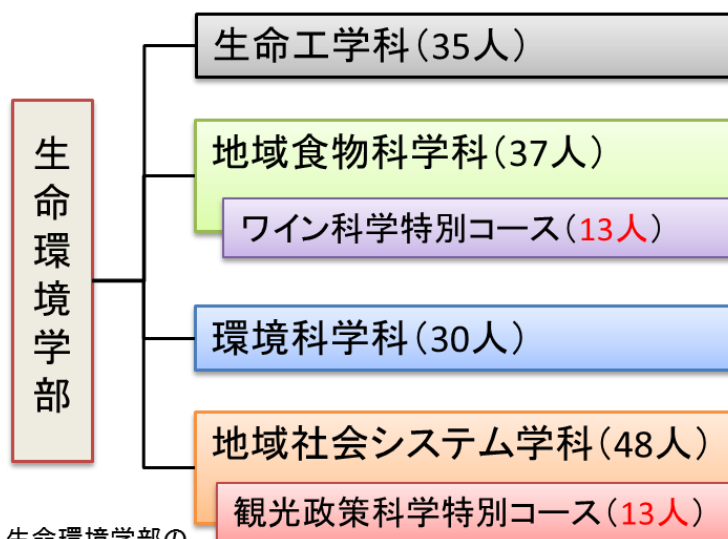
工学専攻の7コース：修士（工学）

■ 平成 28 年度以降の大学院医工農学総合教育部（修士課程）の組織図



■ 平成 28 年度以降の生命環境学部の組織図

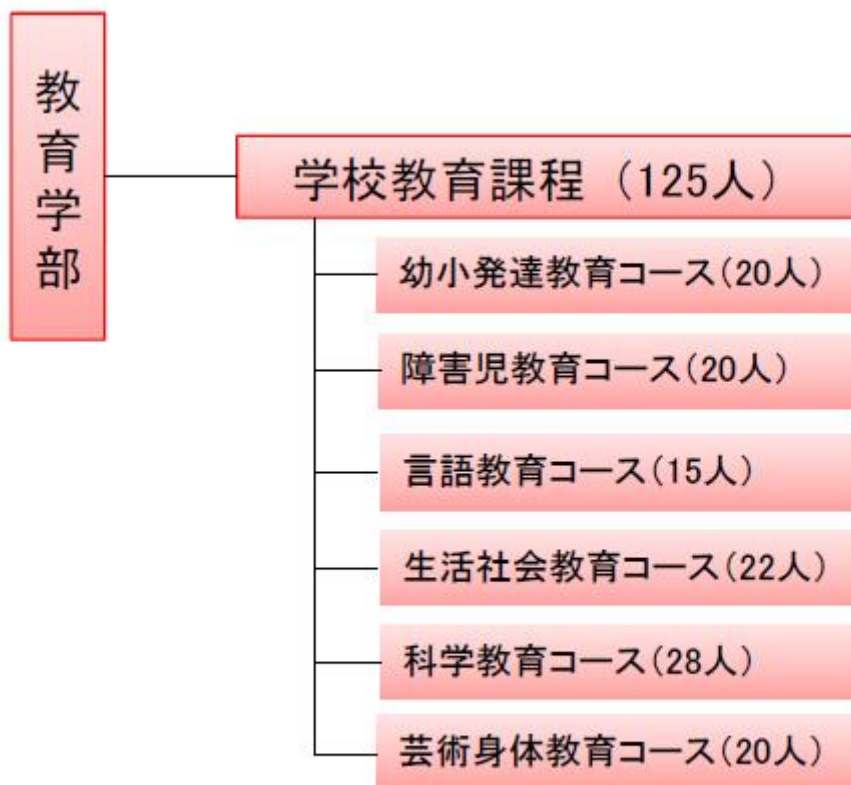
- 生命環境学部地域社会システム学科に「観光政策科学特別コース」を新設し、入学定員を 13 人とする (新規 13 人増)。
- 生命環境学部地域食物科学科の「ワイン科学特別コース」の入学定員を、13 人とする (7 人増)。



○ 生命環境学部の入学定員: 150人

※ 「ワイン科学特別コース」及び「観光政策科学特別コース」の人数は、地域食物科学科及び地域社会システム学科の内数である。

■ 平成 28 年度以降の教育学部の組織図



○ 教育学部の入学定員：125人

※ 学校教育課程は、入学定員・カリキュラム・取得出来る免許状の種類・取得出来る資格等変更はありません。

※ 生涯学習課程で取得可能であった学芸員・社会教育主事・スポーツ健康科学コースでの体育関係の各種資格につきましては、学校教育課程にて取得可能となります。

※ 概算要求に係るものが含まれているため、今後、変更の可能性あることを御留意願います。

※ 文部科学記者会及び山梨県政記者室にリリースしております。

※ カラー版が必要な方は広報担当メールアドレスまでご連絡ください。

【問合せ先】

国立大学法人山梨大学

企画課 TEL：055-220-8014

【広報担当】

国立大学法人山梨大学

総務部総務課広報グループ

TEL：055-220-8006 FAX：055-220-8799

E-mail：koho@yamanashi.ac.jp